

11月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



Dream通信

2012. 11. No. 56

2012年度秋季SAJ(スクールエイドジャパン)ツアー ～皆様から頂いた激励～



サプライズ代表理事誕生日会

皆さんこんにちは。日本ではもう寒くなる頃でしょうか。ここカンボジアでは、雨季もそろそろ終わり、乾季に入ります。乾季に入るとすぐは、気温も下がり、風邪も引きやすくなります。子どもたちの体調管理には十分に気をつけなければならない時期です。

さて、今回のDream通信では、SAJ秋季教育支援ツアーの参加者が来園された際の様子、そして新しく入園した2名の子どもたちの紹介、また今月から稼働した『夢追う子どもたちの家』生徒会の様子についてお伝えします。

SAJ秋季教育支援ツアー

10月16日と17日、日本からSAJ(スクール・エイド・ジャパン)秋季教育支援ツアーのお客様が来園されました。

16日には、渡邊代表理事が来園しました。子どもたちからサプライズで代表理事の誕生日会を行い、子どもたちが作った全員お揃いの手形Tシャツをプレゼントしました。それから学年ごとのミーティングを行い、最近の園での様子や成績を報告しました。あまり成績が良くない子どもは代表理事から叱られ、そしてこれからは頑張る勉強し、良い成績を取り、絶対に高校に入ると約束しました。さらに、里親様が来園され、里子たちとの思い思いの時間を過ごしていただきました。中学生や高校生の子どもの中には、里親様への思いを募らせ、真剣に将来日本で働こうと考えている子どももいます。そして今回直接会いに来てくれた里親様にお仕事の話詳しく聞き、今何を一番頑張らなくてはいけないのか考え、とても貴重な時間を過ごすことができました。

17日には、ツアー参加者の皆様が来園されました。毎週頑張る練習している伝統舞踊と伝統楽器の披露や、アンコールワット修学旅行の報告会など、この半年での子どもたちの成長を報告させていただきました。

今園の子どもたちは中学生が中心となり、大きい子どもたちばかりです。来年には一番年長の子どもの大学入試が迫っています。近い将来、子どもたちが日本や海外で働き、たくさんの人と触れ合い、たくさんの知識を得て祖国カンボジアを発展させる重要な人物に育てたいと思います。



代表理事へ子どもたちから成績報告



里親様に近況報告



左がティダエン、右がティダー

新入園児

10月15日、「夢追う子どもたちの家」に新たに2人の子どもたちが入園しました。この姉弟の名前はスン・ティダー8歳、スン・ティダエン6歳です。2人とも来園当初は緊張して怯え、ほとんど笑いませんでしたが、一番の年少ということで、園の皆にかわいがられ、今ではとっても素敵な笑顔を見せてくれるようになりました。

2人はバタンパンの農村で育ち、母親と暮らしていましたが、貧しくて学校に通えないため、今回入園することになりました。これから友達を作り、文字を覚え、新しいスタートを迎える2人ですが、どんどん勉強して大きく成長して欲しいと願っています。



遊び道具の整頓を教える遊具管理委員

生徒会委員

先月号でお知らせしたように、10月から「夢追う子どもたちの家」では生徒会が発足されました。今回は生徒会員の詳しい活動内容をお伝えしたいと思います。

生徒会長、副会長の他に様々な役割分担があります。まず、清掃委員長はコン・ソレン(中3女)、委員はタン・セラー(小6男)とスローン・ヴォッティ(高1女)、自転車修理委員長はドン・ダライ(中2男)、委員はノン・ソッティ(中1女)とカエウ・ナーキム(中1男)、健康・衛生管理委員長はノン・サオルアン(中3女)、委員はホン・ソトン(中2男)とソン・カンチャナー(高1女)、機械管理委員長はテーン・ヴィチェット(高1男)、委員はシン・スレイナエット(高1女)とフン・ポム(中1男)、遊具管理委員長はブーン・マイ(中2女)、委員はトム・ティアン(中2男)とサエム・チャンソン(中2女)、農業委員長はルン・シム(中3男)、委員はラン・リーマー(中2女)とフン・パエット(小6男)、イベント企画委員長はロン・ヴィラー(中3男)、委員はメン・スレイキアン(中3女)とクオイ・マッカー(高2男)。以上7つの委員会を構成し、それらの意見をまとめるのが、前回お知らせした生徒会長のチョム・サルアンと副会長のルム・レーンヒアン、ハイ・トルの3人です。



自転車の整理をする自転車委員

生徒会発足から1ヶ月が経過し、途中お盆休みを挟みましたが、皆順調に自分たちの仕事に自覚を持ち始めています。時には、自分より大きい子どもに注意できなかつたり、会長・副会長が各委員の補佐をできていなかったりと問題は多々ありますが、**だんだん**と子どもたち自身に責任感がつき、自ら進んで行動し、考えることができる力を身につけて欲しいと思います。そして、委員ではない他の子どもたちにも自分から手伝える意識、物を大事にする意識が強まり、良い習慣が身に付いていくことを期待しています。

今後は、生徒会主導の子ども全体ミーティングなどを行い、自分たちが暮らすこの園を、自分たちの力でより良いものにして欲しいと思います。そしてこれらの経験を元に、たくさんの力を身につけ、将来に役立てて欲しいと思います。

清掃委員長コン・ソレンの今後の抱負
「初めての委員長で、選ばれて、とても嬉しいです。今まで以上に、勉強も頑張り、職員さんのお手伝いもしながら、ごみ捨てについてのルールや、園内の清掃に力を入れたいと思います。まずは自ら進んで行い、他の子どもたちの見本となれるように、精一杯頑張ります。」